

ワーキング・グループにおいて議論いただく論点（案）

第4回本会議（9月29日）での議論を踏まえ、以下のような論点、方向性について、議論いただいてはどうか。

1. 総論

＜第4回会議での主な意見等＞

（主として、社会全体の視点）

- ・ 一人一人の生産性の向上と、海外からの高度人材の受入れ
- ・ 緊迫の度合いを増す国際情勢の下、日本の国益を維持・増進するための国力の向上
- ・ 国際研究ネットワークの構築や国際産学連携の推進に向けた海外留学の促進
- ・ 外国人留学生の日本企業での就職促進に向けた、教育政策、雇用政策、入国管理政策の一体的な推進
- ・ 産官学を通じた高度外国人材の確保、日本の理解者・サポーターとなる人材の育成
- ・ 多様性・包摂性のある持続可能な社会の構築
- ・ 東京一極集中でなく、全国各地での取組推進

（主として、人材育成の視点）

- ・ 地域の成長・発展を支える人材から世界を舞台に活躍する人材まで、厚みのある多様な人材の育成
- ・ 社会課題を自分事として捉える主体性、異文化を理解して相手の立場を理解する共感力、多様な人を巻き込める行動力の育成
- ・ 好きなことへの情熱やハングリー精神の涵養
- ・ 国際通用性のある人材輩出のための教育の推進
- ・ 多文化・多言語の学習環境による教育効果・価値の創出
- ・ 留学生の受入れによる、人材獲得（経済的なメリット）、親日派の育成（外交的なメリット）、人道的な価値の体現、国際社会への貢献
- ・ 多様な考え方や高度な知識を身に付けるための日本人学生の留学促進

(1) コロナ後の新たな留学生受入れ・派遣計画に向けた論点

<深掘してご議論いただくポイントの例>

- ①大学等における留学生の受入れ・派遣の質向上や日本人学生等の海外派遣を含めた新たな KPI の設定に関する論点
- ②留学の概念の再構築（オンライン教育の進展を踏まえた在り方）に関する論点
- ③外国人留学生受入れに関する論点
 - ・留学生の受入れの質向上の在り方（大学等での教育、住生活環境等）
 - ・高校段階からの受入れ促進方策
 - ・社会のニーズや国際動向等を踏まえた受入れ地域や分野の重点化
- ④日本人学生の海外派遣に関する論点
 - ・短期及び中長期での日本人学生の海外留学促進の在り方
 - ・官民協働やオンラインなど多様な形での日本人学生の海外大学等での学びの推進

<第4回会議での主な意見等>

(主として、外国人留学生受入れの視点)

- ・留学生から選ばれるような大学自らの魅力向上
- ・学部段階における優秀な留学生の定員枠の緩和
- ・留学生の授業料設定の柔軟化と受入れの質向上
- ・社会のニーズや国際動向等を踏まえた受入れ地域や分野の重点化
- ・先進国・途上国を問わない脱炭素を支える人材育成への支援
- ・優秀な留学生の受入れを通じた避難民の支援

(主として、日本人学生の海外派遣の視点)

- ・日本人学生が留学する際の大学院等での学位取得の推進
- ・最先端の研究や研究成果の社会実装を目指した、理系学生をはじめとした大学院生の海外留学の促進
- ・奨学金制度の拡充を含めた資金面の手当て
- ・海外の生の声や奨学金など留学のメリットについて、情報格差・経済格差・地域格差なしにアクセスできる情報提供の促進
- ・官民協働やオンラインなど多様な形での日本人学生の海外大学での学びの推進
- ・女性の社会参画促進に向けた取組の推進
- ・意欲ある大学生・高専生の海外派遣促進
- ・農業を学ぶ学生等の留学・国際交流活動の推進による、我が国の農業をけん引する国際感覚を備えた人材の育成・確保

(2) 卒業後の留学生等の活躍に向けた論点

<第4回会議での主な意見等>

(主として、外国人留学生等定着の視点)

- ・ 企業における高度人材の採用促進
- ・ 留学生が活躍するための企業の環境や雇用慣行の見直し
- ・ 外国人留学生の地元企業への就職・定着促進のための産学官コンソーシアムの設立、高度外国人採用・定着に係る伴走型支援
- ・ 高度外国人材の在留資格制度について世界に伍する水準への改革
- ・ 高度な専門的知識や技能を身に付けた大学や専門学校卒の留学生の在留資格の見直し
- ・ 非漢字圏の学生増や日本語能力を求める企業の実態等を踏まえた日本語教育機関における在籍期間の見直し
- ・ 人道的な観点からの在留資格・法的地位の柔軟な対応

(主として、日本人学生の就職促進の視点)

- ・ 通年採用の促進など、日本人学生の海外留学後の就職円滑化のための環境整備

(3) 教育の国際化の促進に向けた論点

<第4回会議での主な意見等>

(主として、国内大学等の国際化の視点)

- ・ ダブルディグリー・ジョイントディグリーの更なる推進
- ・ 多様な価値観を認め合う環境の醸成をはじめとした国内大学の国際化の促進
- ・ 外国で学位を取得した教員や外国語による授業の増加、教育の多様化・高度化に向けた研究者交流の促進
- ・ 外国人教員・学生の住環境の整備
- ・ 初等中等教育段階からの国際感覚の育成
- ・ 総合的な探究の時間等において、ギガスクール構想による端末も活用した生徒間のオンライン交流の促進
- ・ 国際バカロレアを活用した大学入試の促進
- ・ 国際通用性をもった教育手法（DX活用を含む）や質保証の柔軟化

(主として、外国人材の活躍に向けた教育環境整備等の視点)

- ・ 高度人材にとって魅力的な子供の教育環境の整備
- ・ 日本語力不足により学習活動に支障が生じている子供への学習支援 (JSL : Japanese as a Second Language) の取組推進
- ・ 地方公共団体が在留外国人に対する情報提供及び相談を行う一元的な窓口の設置促進

(その他)

- ・ 国内大学の海外分校や高専をはじめとする日本型教育の輸出

以上